

優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化事業 事後評価結果

研究開発課題名	医療側と企業側双方を対象とした双方向的開発人材育成拠点の整備
研究開発代表機関	国立大学法人 大阪大学
研究開発代表者	中島 清一

【計画実施概要】

(1)当初の計画

既存の開発人材育成プログラム(座学、臨床実習、課題検討会)を引き続き実施するとともに、学内の関連プログラムとの連携構築に着手し、大学全体として人材育成・機器開発支援体制を形成する準備を進める。

(2)成果

既存プログラム:医療側と企業側の双方向的な人材育成を計画通り実施。学内連携:学内各拠点が提供してきた育成プログラムや支援内容を整理し、各拠点の特色と、共通項となり得るコンテンツを抽出。一部コンテンツは本事業との相乗りを開始した。本事業への講師派遣等も積極的に行い、学内コンセンサスの形成を進めた。

(3)課題

既存プログラム:臨床実習の実施形態は確立したが、ハンズオン・ラボはより効率的、持続可能な実施形態を検討すべき。学内連携:各拠点の育成、支援プログラムは整理されたが、それらを一元的に保守・管理し、参加者にわかりやすく紹介、提供できる事務局機能は未整備。

(4)今後の方針

既存プログラムのさらなる充実と、より密な学内連携の構築をめざす。最終的には参加者が段階に応じて適切な研修プログラムへアクセスしたり、必要な開発相談や支援を受けることができる「ワンストップ事務局」を整備したい。

【評価コメント】

多面的で実践的な人材育成プログラムの拡充、ハンズオンを含む育成環境の強化、学内外ネットワーク拡大、そして拠点運営・体制整備が着実に進んでいる点が評価された。

以上